

「楽しむ力を大切にした授業作り」 小学部

小学部では、文献研修をしていくなかで、キャリア教育の3つの視点「楽しむ力」「暮らす力」「働く力」のうち、小学部段階では「楽しむ力」を育てていきたいと話し合いを行った。そして、「楽しむ力」を育てていくためには、「遊ぶこと」が大切であると考えた。小学部段階で十分に遊びきることで、好きなことが広がり、「やりたい」という気持ちも育ち、また将来的には余暇を活用し、心豊かな生活を過ごす力につながるのではないかと考えた。そこで「楽しむ力を大切にした授業作り」を小学部のテーマに設定した。

〈1年目の取組〉

1年目は、文献学習と研修計画、研究対象授業の検討を行った。検討していく中で、対象授業を「合同遊び」の授業に決定した。「合同遊び」は、教育課程上、「遊び活動の指導」に位置づけており、小学部にしか設定されていない指導形態である。小学部でしかできないこの授業について、学部で深く考えていくことにした。

〈2年目の取組〉

2年目は実際に、「合同遊び」の授業改善に取り組んだ。「合同遊び」では①主体的に活動し、遊びを楽しむこと、②友だちを意識したり関わったりすることの2つをねらいにして、2つの単元の授業を行った。研修していく中で、学部の中で「楽しむ」ことをどう評価するかが難しいという意見があった。そこで「楽しむ」ことの評価について、学部で共通した視点で評価できるように、「楽しむ」評価表を作成し、授業後に記録するようにした。授業を梶教授に見て頂き、リクエストの機会を設けることや、「楽しむ」評価表の視点をさらに付け加えていくと、楽しみ方がもっと見えてくること等のアドバイスを頂いた。このアドバイスを受けて、「楽しむことの評価表」の改善を行った。具体的には、「友だちとの関わり」について項目を追加し、また各項目において、どんな場面でどんな様子だったのかを具体的に書けるよう改善した。

そして次年度、「楽しむ力」とキャリア発達との関連を考えるため、別紙の関連図を作成した。

「楽しむ評価表」及び関連図(その1)参照

〈3年目の取組〉

3年目は、「合同遊び」の授業改善を行うとともに、「楽しむ力」とキャリア発達のつながりを考えることで、「楽しむ力」が子どもたちの成長にどう関わっているかを考えた。そのために、遊びの発達について資料とキャリア発達の本を読み返し、前年度に作成した「楽しむ力」と基礎的・汎用的能力の「4つの力」の関連図を基に、本校の児童における「4つの力」について、具体的に考えた。

別紙(4つの力の表)参照

〈まとめ〉

3年間の研修を通じて、学部で確認されたことを以下に記した。

まず、授業作りで大切にしたいこととしては、以下の点が挙げられる。

- ・様々な感覚への働きかけ
- ・興味・関心を引き出す教材や活動の工夫
- ・活動への見通しや期待、安心感
- ・主体的な活動、「できた」という実感、達成感
- ・十分に遊びきる時間を確保すること(時間配分)
- ・友だちとの関わり(同じ視線で楽しめたという思い、友だちへの意識)
- ・教員間の連携、共通理解
- ・児童・教員集団の雰囲気 安心感を与えられる集団作り

また、キャリア発達の研修を通じて感じたこととしては、

- ・小学部の子ども、特に重度の子どもにとって、キャリア教育は難しいもののように感じていたが、子どもの変化をキャリア発達の視点から捉え直し、考えることで身近に感じられるようになったこと。
 - ・基礎的・汎用的能力の4つの力を、それぞれ細かく分けて考えたことで、より深く理解することができた。
 - ・4つの力が相互に関連し合っていることが理解できた。
- などが挙げられた。

そして、前年度作成した関連図を改善し、完成させた。

別紙参照(関連図その2)

そして、この研修を通じて、本校小学部におけるキャリア発達について次のようにまとめた。

本校小学部におけるキャリア発達 — 楽しむ力を中心に —

- ・「楽しむ」ことが、4つの力のそれぞれに関わっており、それらが育つことによって、楽しみ方が変わったり、より楽しむことができるようになってきたりすると考えられる。その基盤には、安心できる児童・教員集団の存在を含めた、安心できる環境が必要であると考えられる。
- ・発達の未分化な小学部の子どもたちにとっては、4つの力のそれぞれが別々に育つのではなく、4つの力が互いに関連し合って育っていくと考える。

今後も小学部では、楽しむことを大切に授業作りに取り組み、様々な場面で、様々な相手と楽しむ力につなげられるよう、取り組んでいきたいと考えている。